

地域説明会（第 2 回）実施後アンケート結果

教育総務課学校適正規模・適正配置推進室

1 調査概要

1. 調査の目的

小中学校適正規模・適正配置に関する保護者や地域住民等の考え方や意見等を収集し、今後の検討や計画の内容に反映させるために実施するもの。

2. 調査期間

令和8年8月22日(土)～9月20日(日)

3. 調査方法

地域説明会実施後、各会場にて紙面で回答するもの

4. 調査対象

第2回地域説明会参加者

5. 対象者数

右図のとおり

実施日時	会場	対象者数 (参加者数)	回答数	回答率
8月22日(土)	古巻公民館	20	17	85.0%
8月23日(日)	北橘公民館	8	7	87.5%
8月26日(水)	伊香保公民館	17	15	88.2%
8月28日(金)	小野上公民館	7	7	100.0%
8月31日(月)	子持公民館	15	11	73.3%
9月 2日(水)	赤城公民館	49	38	77.6%
9月20日(日)	市民会館	75	59	78.7%
合計		191	154	80.6%

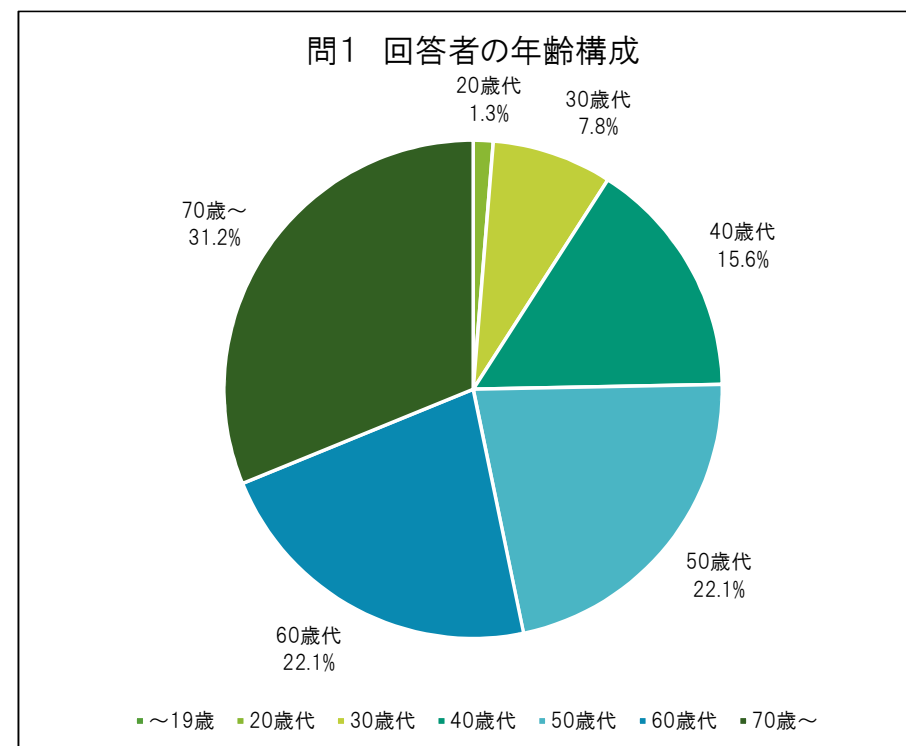
2 設問一覧

番号	設問	形式
問1	年齢について教えてください	選択式
問2	お住まいの地域を教えてください	選択式
問3	「学校」や「児童・生徒(小中学生)」等との関わりを教えてください	選択式
問4	「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか	選択式
問5	問4の回答の理由を教えてください	自由記述
問6	問4で1、2または5を選んだ方に伺います。基本方針に基づいた学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮した方が良い(より配慮した方が良い)と思うものを選んでください。	選択式 ※3つまで
問7	問4で1、2または5を選んだ方に伺います。学校の適正規模・適正配置の方策としてご自身の考えに近いものを選んでください。	選択式
問8	問7の回答の理由を教えてください。	自由記述
問9	その他にご意見などがあれば記入してください。	自由記述

3 調査結果

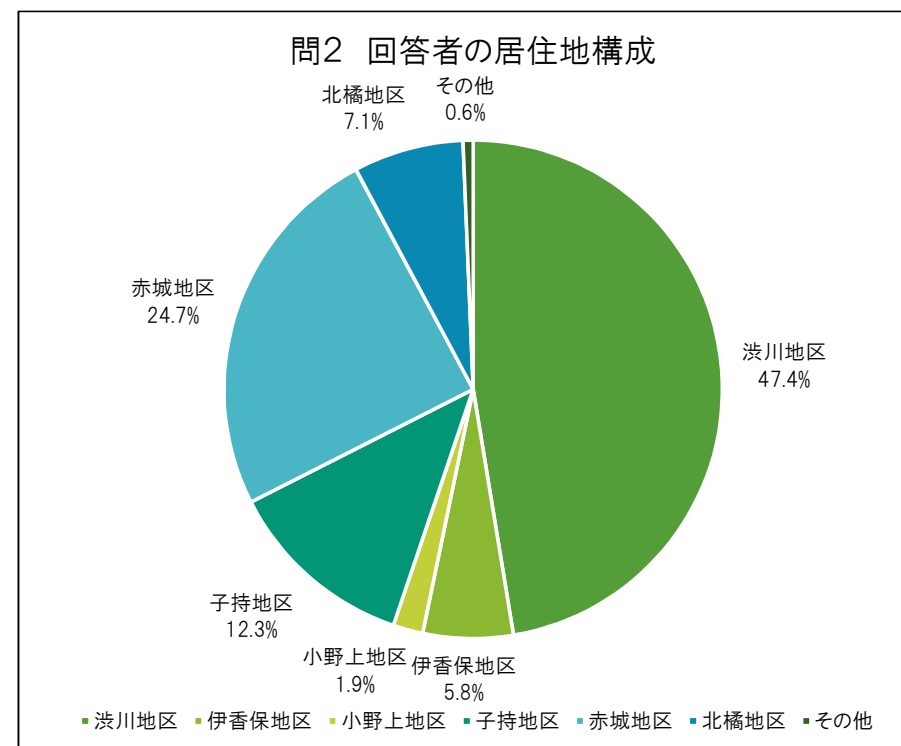
◆問1：年齢について教えてください【1つを選択】

区分	回答	構成比
～19歳	0	0.0%
20歳代	2	1.3%
30歳代	12	7.8%
40歳代	24	15.6%
50歳代	34	22.1%
60歳代	34	22.1%
70歳～	48	31.2%
計	154	100.0%



◆問2：お住まいの地域を教えてください【1つを選択】

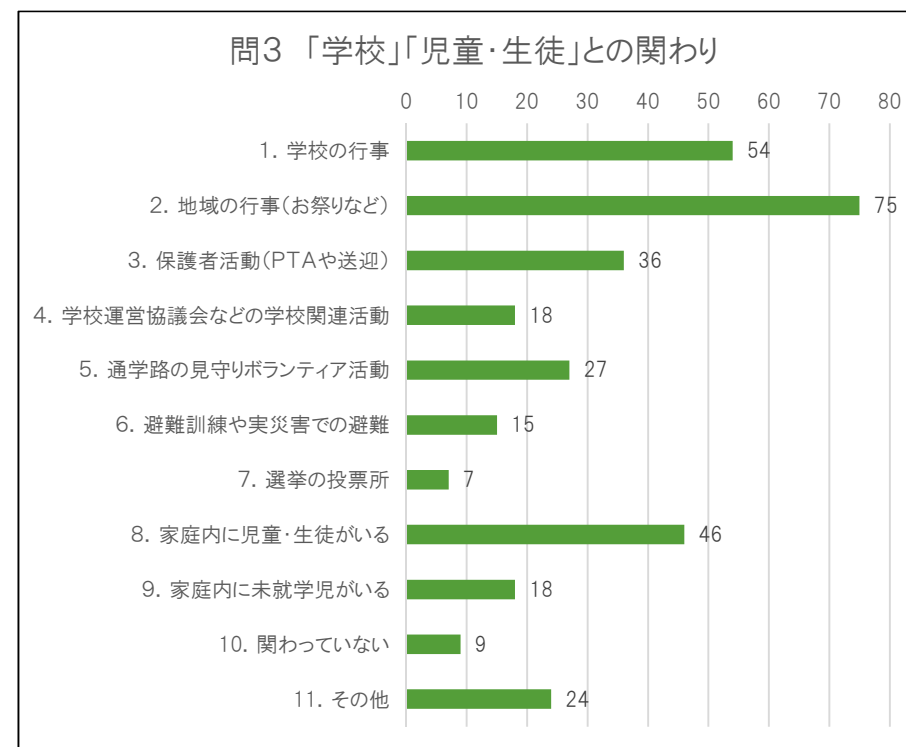
区分	回答	構成比
渋川地区	73	47.4%
伊香保地区	9	5.8%
小野上地区	3	1.9%
子持地区	19	12.3%
赤城地区	38	24.7%
北橘地区	11	7.1%
その他	1	0.6%
計	154	100.0%



◆問3：「学校」や「児童・生徒（小中学生）」等との関わりを教えてください【当てはまるもの全てを選択】

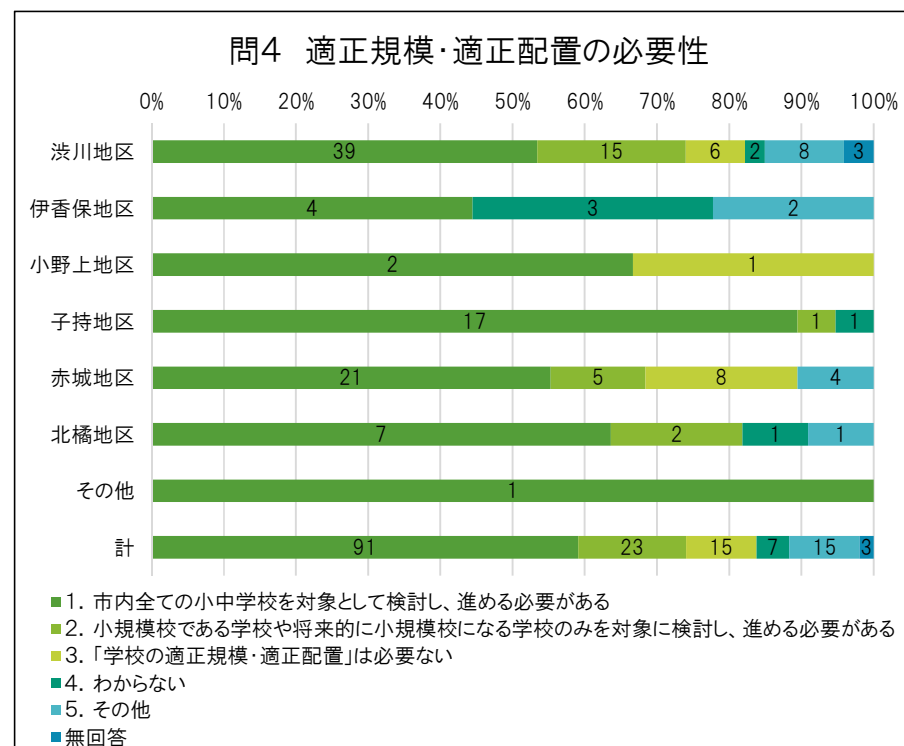
区分	回答	構成比
1. 学校の行事	54	35.1%
2. 地域の行事(お祭りなど)	75	48.7%
3. 保護者活動(PTAや送迎)	36	23.4%
4. 学校運営協議会などの学校関連活動	18	11.7%
5. 通学路の見守りボランティア活動	27	17.5%
6. 避難訓練や実災害での避難	15	9.7%
7. 選挙の投票所	7	4.5%
8. 家庭内に児童・生徒がいる	46	29.9%
9. 家庭内に未就学児がいる	18	11.7%
10.関わっていない	9	5.8%
11. その他	24	15.6%

※構成比は回答者数(154人)に占める割合



◆問4：「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか【1つを選択】

区分	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区	その他	計
1 市内全ての小中学校を対象として検討し、進める必要がある。	39	4	2	17	21	7	1	91
2 小規模校である学校や将来的に小規模校になる学校のみを対象に検討し、進める必要がある。	15			1	5	2		23
3 「学校の適正規模・適正配置」は必要ない(現状のままで良い)	6		1		8			15
4 わからない	2	3		1		1		7
5 その他	8	2			4	1		15
無回答	3							3
計	73	9	3	19	38	11	1	154

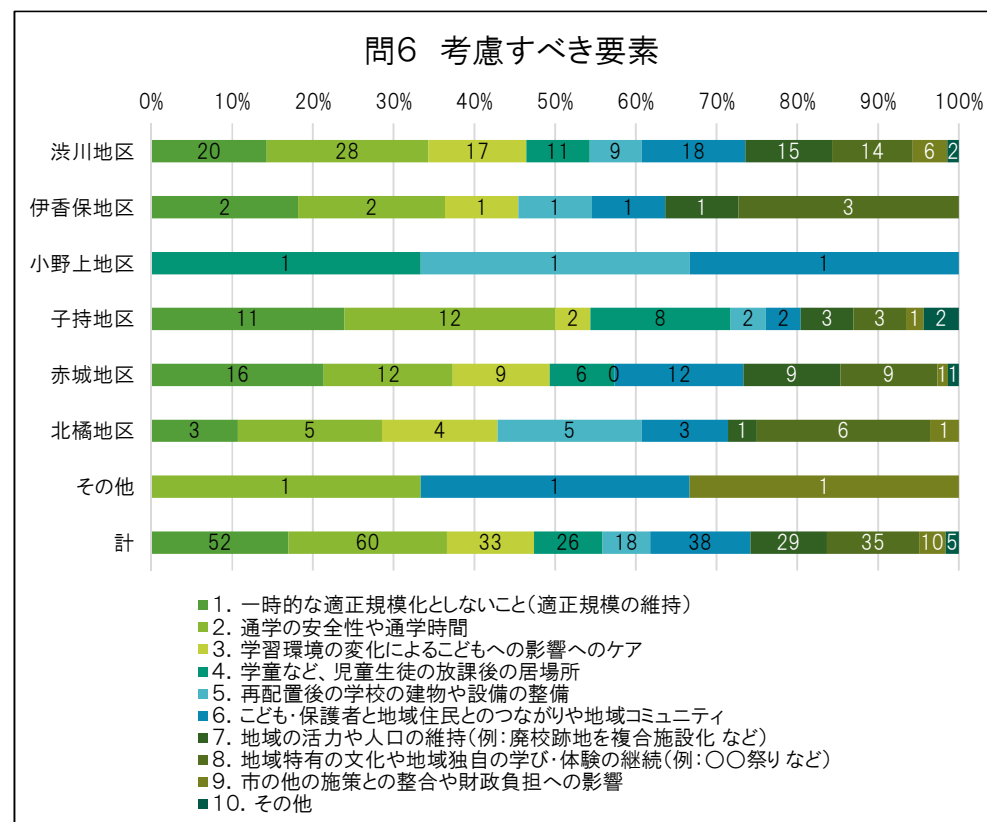


◆問5：問4の回答の理由を教えてください【回答を記述】（抜粋）

番号	選択肢	主な理由
1	全市的に推進する必要がある	・ 少子化、人口減少を考えると、区切りをつけるべきではないと考える。全てを対象としないと、いずれ適正規模の検討が生ずる。 ・ 適正規模は必要と考える。少子化に伴い、10人未満（1学年）程度では、子どもの教育上良いとは言えない。部活も選べない。 ・ 少子化の流れを考えた時、市全体として考えて行かなければ、これからの渋川市の未来を想像できないと考える。市民1人1人が自分の住んでいるふるさとの未来を考えなければいけない。市内全ての学校として考えるべき。
2	小規模校等を対象に進める必要がある	・ 地域の差は、教育環境のバリエーション。市内全体が均一になる必要はない。 ・ 少人数で困っている学校があるので、できるだけ早くできるところから進めていってほしい。 ・ 現状少人数であるので、子ども同士の関わりや、活動に不安があるので、すぐにでも中学校統合をお願いしたい。 ・ 制服や体操着など、保護者にかかる負担も考えると、維持できる見込みがあるならそのままでもいいと思う。
3	進める必要はない	・ 学校は地域と密接にかかわっており、地域の子どもは地域で育てるという観点から。 ・ 適正規模・適正配置は都会など対象に国が決めて地域に下ろしてきたものであり、少人数で行き届いた教育を行う方が良いと考える。 ・ 児童生徒が0にならない限り、学校は残してもらいたい。極論ですが。 ・ 歴史や文化が変わり、それも教育。歴史は変えてはいけない。
4	わからない	・ いろいろ意見、考えを聞いていきたいから。 ・ 適正規模とは何か、誰のための適正なのかわからない。 ・ 適正規模・大規模の学校での不登校の子の多さ。悩む子達の姿。小規模校でののびのびした子ども達の姿もみているので、必要なこととは思いますが、どちらがいいかまだわからない。
5	その他	・ まずは中学校の統合を先行させ、地域の理解を得てから小学校の統合を進めるといった段階的な進め方で配置を進めて欲しい。 ・ 現在検討していることが実行されていく頃には、現在の小中学生の多くは、卒業している。したがって、今の保護者の意見を尊重していくためには、1の議論とは別に、1年、2年で実行していくスピーディさが必要だと思う。 ・ 学校があるから子どもが来る。家族が住む場所として選ぶ所になる部分も考えてもらいたい。

◆問6：基本方針に基づいた学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮した方が良い（より配慮した方が良い）と思うものを選んでください。【3つまでを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

区分	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区	その他	計
1. 一時的な適正規模化としないこと（適正規模の維持）	20	2		11	16	3		52
2. 通学の安全性や通学時間	28	2		12	12	5	1	60
3. 学習環境の変化による子どもへの影響へのケア	17	1		2	9	4		33
4. 学童など、児童生徒の放課後の居場所	11		1	8	6			26
5. 再配置後の学校の建物や設備の整備	9	1	1	2	0	5		18
6. こども・保護者と地域住民とのつながりや地域コミュニティ	18	1	1	2	12	3	1	38
7. 地域の活力や人口の維持（例：廃校跡地を複合施設化 など）	15	1		3	9	1		29
8. 地域特有の文化や地域独自の学び・体験の継続（例：〇〇祭り など）	14	3		3	9	6		35
9. 市の他の施策との整合や財政負担への影響	6			1	1	1	1	10
10. その他	2			2	1			5
計	140	11	3	46	75	28	3	306

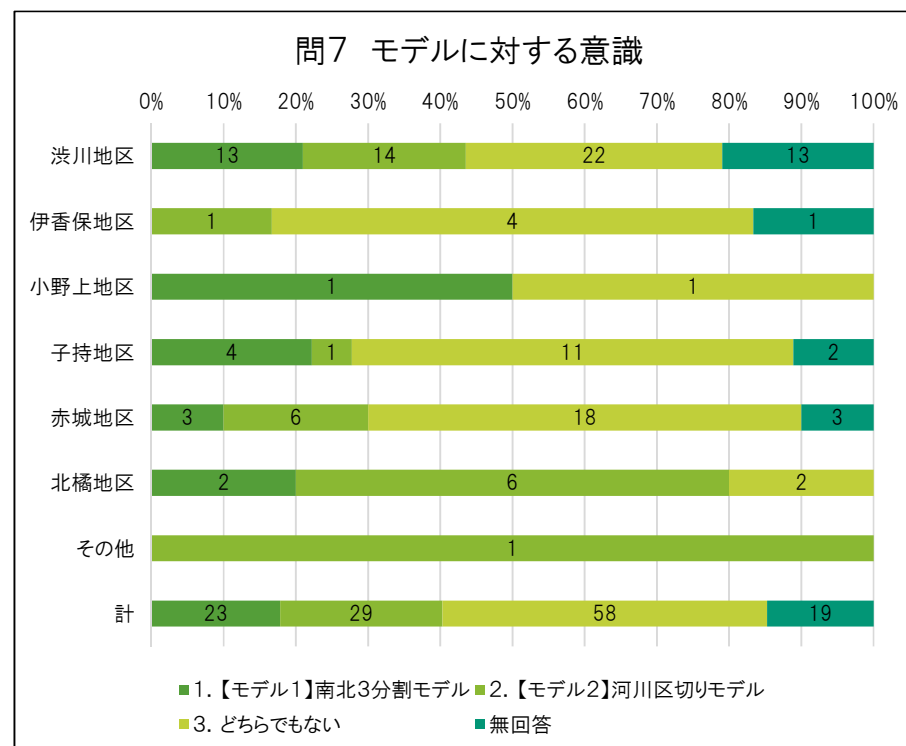


◆問6補足： 10. その他の内容（抜粋・要約）

- 「多人数がよい」「競争が必要」などの概念にとらわれず、小規模の良さを大切にしてほしい。
- 説明会が渋川地区にないので判断できない。
- 通級制度がほしい(全校配置)。
- 教育環境。友人数。放課後活動の活性化。教育効果。

◆問7：学校の適正規模・適正配置の方策としてご自身の考え方に近いものを選んでください。
【1つを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

区分	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区	その他	計
1 【モデル1】南北3分割モデル	13		1	4	3	2		23
2 【モデル2】河川区切りモデル	14	1		1	6	6	1	29
3 どちらでもない	22	4	1	11	18	2		58
無回答	13	1		2	3			19
計	62	6	2	18	30	10	1	129



◆問8：問7の回答の理由を教えてください【回答を記述】（抜粋・要約）

番号	選択肢	主な理由
1	【モデル1】南北3分割モデル	- 児童生徒数のバランスが良く、河川を区切りとした再編は現実的だが、赤城地区から学校がなくなることに対する地域の反対が予想される。 - 南北3分割モデルのパターン2は新しい取り組みとして良いが、友達と離れてしまう部分があり、子どもの負担になる懸念がある。 - 地域差（生徒数や学びの機会）が少なく、説明もわかりやすく現実的であり、しつくりくる案である。橋を渡ることのデメリットはあるものの総合的に良い。 - 小学校の通学時間を40分以内に抑えることを考慮すると妥当であり、旧市町村にこだわらず合併後の新たな区割りを考えるべきだと思う。 - モデル1とモデル2のどちらでも良いが、小野上地区の住民としては将来的にはモデル1の方が良いと感じている。 - 子どもたちには多くの人と関わる機会を持たせたいが、少人数教育を望む方もいるため、選択肢があっても良いのではないかと。 - 基本的には南北モデルが望ましいが、一律にするのではなく微調整を加えて進めてほしい。 - 小さな子どもがいる家庭の事情を考慮して通学の負担軽減に配慮してほしい。
2	【モデル2】河川区切りモデル	- 通学の安全性や通学時間、こども・保護者と地域住民とのつながりや地域コミュニティの重要性を強調している。 - 現北橋中の生徒が別々の中学校に分かれてしまう配置を子どもたち自身が望んでいない。 - 河川を渡ることによる災害時の不安が大きく、歩いて川を渡る子どもがいる場合のトラブルや事故の心配がある。万が一の際には子どもと必ず合流できる体制が欲しい。 - 赤城地区と北橋地区は分けたくないという意見があり、その後で渋川との統合を考えたいという希望がある。 - 地域の文化、協力関係や通学時に橋を渡らずに済むことが重要である。 - 通学距離が長くなる地域への対策をお願いしたいという意見。 - 旧地区（赤城、北橋など）は地域の行事や歴史を大切に、分けずに統合すべき。
3	どちらでもない	- 地域に学校がなくなる、あるいは地域の分断が進むような統合には賛成できず、地域に最低でも小学校は一つ残すべき。 - モデル1は赤城地区が分割されてしまうため反対。モデル2は将来的に生徒数が減少し再度の統廃合が必要になるため反対。段階的に中学校統合の理解を得てから小学校統合を進めて欲しい。 - 歴史的背景や地域の人間関係・事情（例：小野上地域と子持の繋がりを）を尊重した行政区割りと学校統合を考慮すべき。 - 今後の地域の持続性を考慮して、学校の配置や統合の形を検討してほしい。単純な統合だけでなく将来的な視点での検討が必要。 - モデル3提案として、小学校は各地区に1校残し（旧渋川市内は別に）、中学校は渋川全域を対象に1～2の統合案を検討してはどうか。 - 全面的に反対であり、少人数学校を大事にして欲しい。 - 今後もっと考えて、メリットが多くなるように統合を進めてもらいたい。

◆問9：その他にご意見などがあれば記入してください【自由記述】（抜粋・要約）

分類	主な意見
適正規模に関すること	- 示された規模基準は小規模自治体である本市の身の丈に合っていない。基準ありきで統廃合を進め、その枠に子どもを押し込むのは違うのではないか。 - 小学校は、小規模であればきめ細やかなサポートが可能で学校生活がおだやかで勉強に集中することができるメリットが大きい。中学校は、子ども同士の関係が影響大であるので、少ない人数であるとメリットが少ないので、赤城北中学校は一刻でも早くどこかの中学校と一緒にあって欲しい。 - 小学校は、旧市町村ベース、北橘、赤城、子持など。中学校で市内3～4校案が個人的にベターだと考える。 - 適正規模に必ずしも学力向上につながると言い切れるものでもない。 - 子ども達のメンタル心配が。小5→適正規模になったとき大規模でなじめるのか。
通学に関すること	- 北小、西小からの金島小は生活圏ではないと思う。山に携帯も持たず、40分歩くのは少しきつい。 - スクールバスの補助(全額負担なのか)、通学の安全性の提示が必要である。 - 通学は保護者の送迎かスクールバスか、公共機関を使うかを考えて欲しい。働いている保護者が多く、それに合わせた通学時間になるか。 - 通学バスの問題は適正規模・適正配置の検討が進む、進まないに関わらず、解決・対策が必要だと思う。 - 親は災害や熊騒ぎで送迎せざるを得ないこと、敏感になっている。コロナ、防犯についても、安全面に気になる。その都度、対応できるか。
配置・地域に関すること	- 学校が無くなった場所には、人口は増えない。減る方向の話しかできない。学校がない地域に新たに住む家族は非常に少ないと思う。 - 学校の持続性だけでなく、地域の持続性も考えたモデルの検討や、学校から離れた地域が生まれてもその場所が過疎地にならない工夫や施策を考えて進めていく必要がある。 - 地域の行事もなくなる可能性があると言われたら地域の魅力がなくなるのではないか。 - 赤城に、小学校・中学校を残すか、残すために、他から来てもらう。 - 小学校、中学校は、より理想な場所へ建てることはできないだろうか。現状の学校を使うと、なかなか理解を得られない面があると思う。
情報公開や検討の進め方に関すること	- 第1回、第2回ともに子育て世帯の参加者が少ないことがとても残念である。すぐーなどで内容を添付するなど周知してほしい。 - 住民説明会で出された意見の集約と開示をお願いしたい。第3回の説明会の開催も渋川広報で広く市民に知らせてほしい。 - 統廃合に関して学校運営協議会での協議の内容、出された意見や回答を公開してほしい。 - 統合するに当たり、今回の資料をもっと保護者に知ってもらいたいため、小・中学校等に配ってもらいたいと思う。 - 現役子育て世代からすると、早期に実現して欲しい。長期で考えて入るところが非常に良い。できれば小学校は1校残して欲しい(赤城地区)。 - 次の説明会では、義務教育学校についてのメリット・デメリットの説明が欲しい。